

令和3年度 新穂中学校グランドデザイン

【教育目標】 やさしく つよく あたらしく  
 【重点目標】  
 互いを尊重しともに高め合う生徒 心身ともに健康な生徒 自ら学び、考え、創造する生徒  
 【生徒の実態】  
 豊かな感性と高い親和性が、学習と諸活動の随所に見られる。新学習指導要領の完全実施と新しい生活様式や情報社会の進展等に伴う新たな教育課題を念頭に置き、重点目標に迫りたい。

互いを尊重し  
 ともに高め合う生徒

- ①学習・諸活動・行事で、自分の役割を自覚し、協力し合って活動する生徒が 95%以上 (昨年 92%)
- ②思いやりのある行動や会話をしている生徒が 95%以上 (昨年 92%)
- ③いじめ(自分がされた、見た・聞いた)を見逃さない生徒が 95%以上 (昨年 92%)
- ④地域に愛着と関心がある生徒が 90%以上 (昨年 89%)
- ⑤学校や地域で積極的に挨拶をする生徒が 80%以上 (新)

心身ともに健康な生徒

- ①自己肯定感のある生徒が 80%以上 (昨年 69%)
- ②学習・諸活動・行事などで、目標に向かって粘り強く取り組んでいる生徒が 95%以上 (新)
- ③平日のゲームとネット(娯楽)の利用が 2 時間以内の生徒が 60%以上 (昨年 49%)
- ④健康のため、規則正しい生活(食事・睡眠・運動)を実践している生徒が 80%以上 (昨年 74%)
- ⑤運動が好きと回答する生徒が 85%以上 (昨年 80%)

自ら学び、考え、  
 創造する生徒

- ①学力検査の平均偏差値が 50 以上 (昨年 50.6)
- ②授業が分かると回答する生徒が 80%以上 (新)
- ③授業の準備と振り返りを確実にし、学習に主体的に取り組んでいる生徒が 90%以上 (昨年 87%)
- ④新聞やタブレットを活用し、学びを広げ深めている生徒が 80%以上 (新)
- ⑤平日 1 時間以上の家庭学習に取り組んでいる生徒が 70%以上 (昨年 46%)

- ①指導体制・方法の工夫・共有
- ②話し合い活動の工夫
- ③いじめ防止学習プログラムの実践
- ④SDGs の実践と佐渡学
- ⑤挨拶運動・外部団体との連携

- ①②学習指導・特別活動・道徳教育・生徒指導・教育相談の充実
- ③④生活ノートの活用、三校連携・生活リズムチェック週間等の啓発活動
- ⑤体育的行事の工夫

- ①単元別・WEB・実力テストの実施と事前・事後指導
- ②③補充学習と定期テスト指導、教えて考えさせる授業実践、振り返りの活動と評価
- ③NIE の実践と ICT の活用
- ④授業と家庭学習の連動

【その他】

- ①大規模改修(夏)、管理主事訪問(6月)
- ②一人一台端末設置(4月)に伴う ICT の効果的な活用と研修の推進
- ③NIE 研究委嘱校発表会(11月)と SDGs の推進
- ④学力向上計画訪問を基軸とした授業改善の推進
- ⑤学校運営協議会と連携した学校課題の解決と地域との連携
- ⑥働き方改革の推進(1か月の在校等時間 4 5 時間以内の達成)